

「でんきと私」 静岡県立科学技術高等学校 2年 電気工学科 渡邊 大翔

私は今高校で電気工学科というものに所属しています。電気工学科では週に一回実習と呼ばれるものが存在していてそこではオシロスコープや電流計などを使ったりして電気の性質などを学ぶということをしています。その中で私が一番印象に残っているのはシーケンス制御です。私は直接配線するリレーシーケンスと PLC を利用するタイプの両方をやりました。基礎的なものしかやっておりませんが、やっていてすごく興味深かったです。特に PLC の方は入力するだけで配線されるので凄く便利だと感じました。私は PLC 関係の仕事に就きたいと考えています。しかし PLC は一個間違えると何も動作しなかったりするのでラダー図などを書いてから入力していくというのを実習でやりました。パソコンなどを用いて入力すると画面にラダー図が出力されて間違えていると直ぐに分かるというシステムがあればいいなと思いました。もしかしたら私が無知なだけであるのかもしれませんがそのようなものがあれば大変便利だと思いました。一番いいのは間違えないことですが、何回もやっていると間違えたりすることはあると思うので確認作業が楽になるという点においてはこのようなシステムがあればいいなと思いました。パソコン関係で最近スマートグリッドと呼ばれるものがあり電力需要などをデータ化して需要に応じて電力を配分するというものがあります。私はそれにも興味あり、最近火力発電の温暖化問題や化石燃料の不足の問題など電力による問題が増えてきています。それにより電力が不足してしまうという問題に対して需要に応じて正しく配分するといった事はとても重要になってくると思うのでスマートグリッド関係の職に就きたいという気持ちもあります。